



国別情報（コスタリカ）

2025年11月

三菱UFJリサーチ & コンサルティング
海外環境協力センター（OECC）



コスタリカ

1. 一般情報

省庁体制

※太字・下線はJCMの合同委員会メンバー

行政府

農畜産省 (Ministerio de Agricultura y Ganadería)

外務・助言省 (Ministerio de Relaciones Exteriores y Culto)

財務省 (Ministerio de Hacienda)

経済産業省 (Ministerio de Economía, Industria y Comercio)

環境・エネルギー省 (Ministerio de Ambiente y Energía)

公共事業・運輸省 (Ministro de Obras Públicas y Transportes)

公教育省 (Ministerio de Educación Pública)

保健省 (Ministerio de Salud)

労働・社会保障省 (Ministerio de Trabajo y Seguridad Social)

文化・青年省 (Ministerio de Trabajo y Seguridad Social)

その他省庁等

- 内務・警察・公安省 (Ministry of the Interior, Police and Public Security)
- 正義・平和省 (Ministerio de Justicia y Paz)
- 住宅・人間居住省 (Ministerio de Viviendo y Asentamientos Humanos)
- 科学・イノベーション・技術・電気通信省 (Ministerio de Ciencia, Innovación, Tecnología y Telecomunicaciones)
- 外務省 (Ministerio de Comercio Exterior)
他

省庁以外のJCメンバー

**国家林業融資基金
(FONAFIFO)**



コスタリカ

1. 一般情報

経済情勢

- 主要産業 :
 - ・ 農業（バナナ、パイナップル、コーヒー等）、製造業（医療器具）、観光業
- 名目GDP : 86,500百万ドル（2023年：世界銀行）
- 1人あたり名目GDP : 16,595ドル（2023年：世界銀行）
- 経済成長率 : 5.1%（2023年：世界銀行）
- 物価上昇率 : 0.5%（2023年：世界銀行）

（出所）外務省「コスタリカ共和国 基礎データ」（2025年2月4日）
 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/costarica/data.html>, 2025年9月22日アクセス)

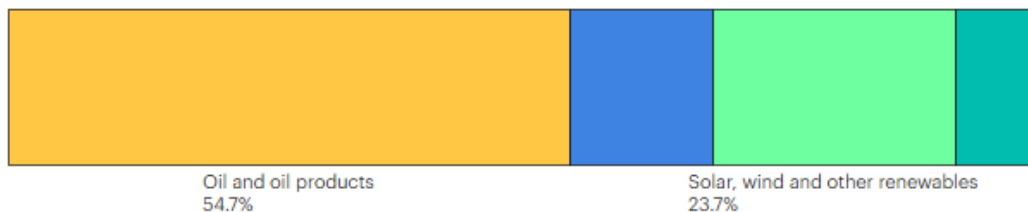


コスタリカ

1. 一般情報

エネルギー供給構成（2024年）

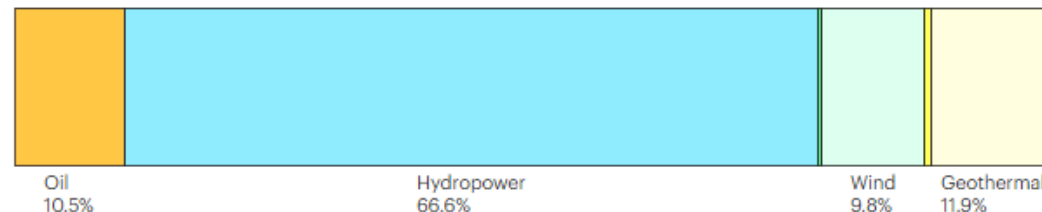
Total energy supply, Costa Rica, 2024



- Coal and coal products
- Oil and oil products
- Hydropower
- Solar, wind and other renewables
- Biofuels and waste

電源構成（2024年）

Electricity generation, Costa Rica, 2024



- Oil
- Hydropower
- Biofuels
- Wind
- Solar PV
- Geothermal

エネルギー源別最終エネルギー消費（2023年）

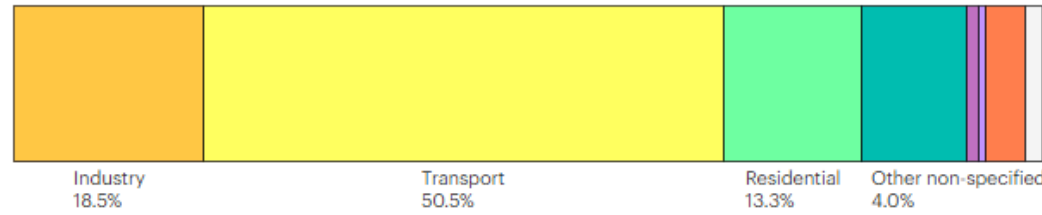
Total final consumption, Costa Rica, 2023



- Coal and coal products
- Primary oil
- Oil products
- Electricity
- Biofuels and waste

部門別最終エネルギー消費（2023年）

Total final consumption, Costa Rica, 2023



- Industry
- Transport
- Residential
- Commercial and Public Services
- Agriculture and forestry
- Fishing
- Other non-specified
- Non-energy use

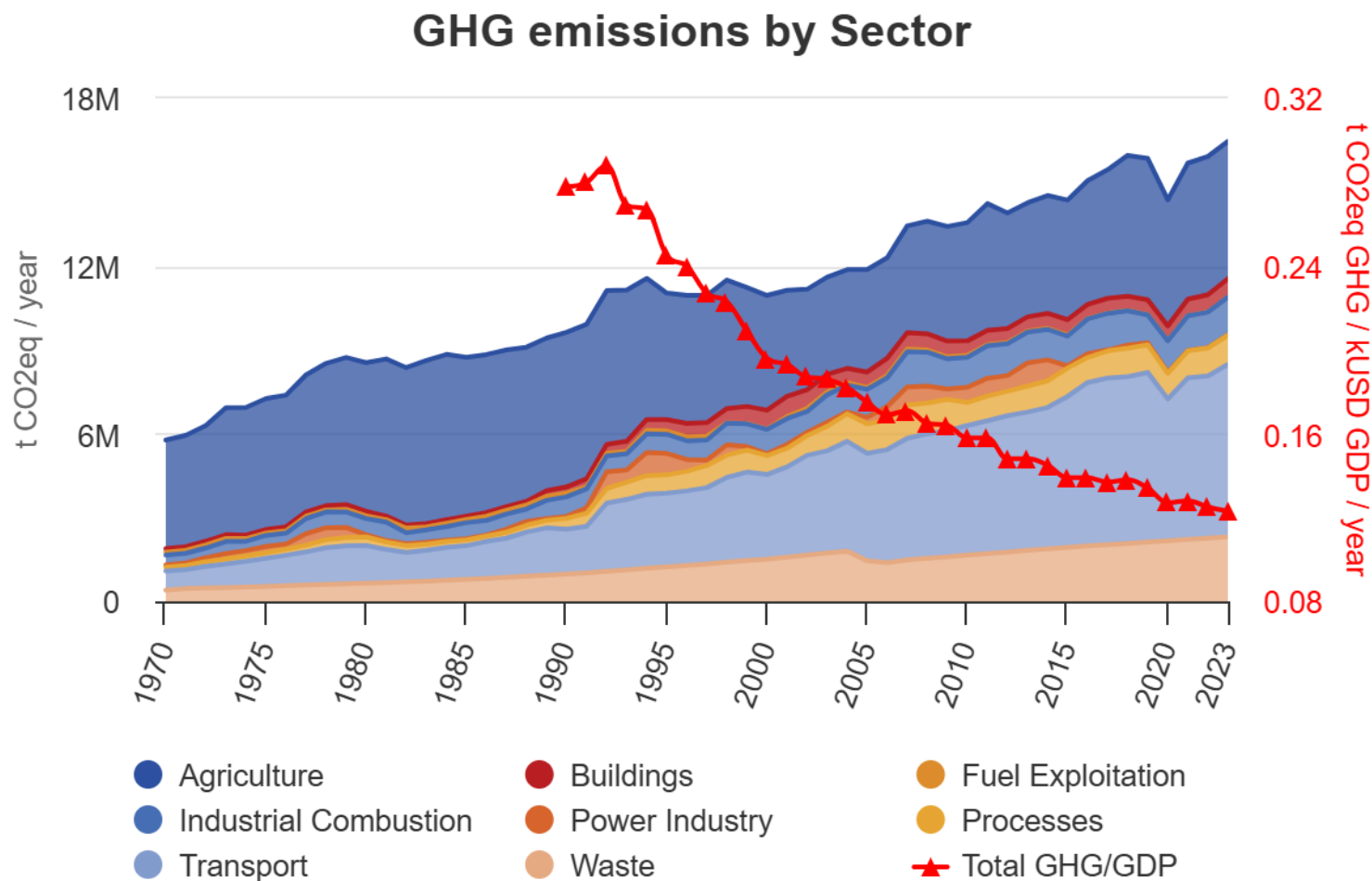
(出所) IEA, World Energy Statistics and Balances (<https://www.iea.org/countries/costa-rica/energy-mix>, 2025年11月10日アクセス)



コスタリカ

1. 一般情報

温室効果ガス排出量の推移（1970年～2023年、LULUCF含まず）



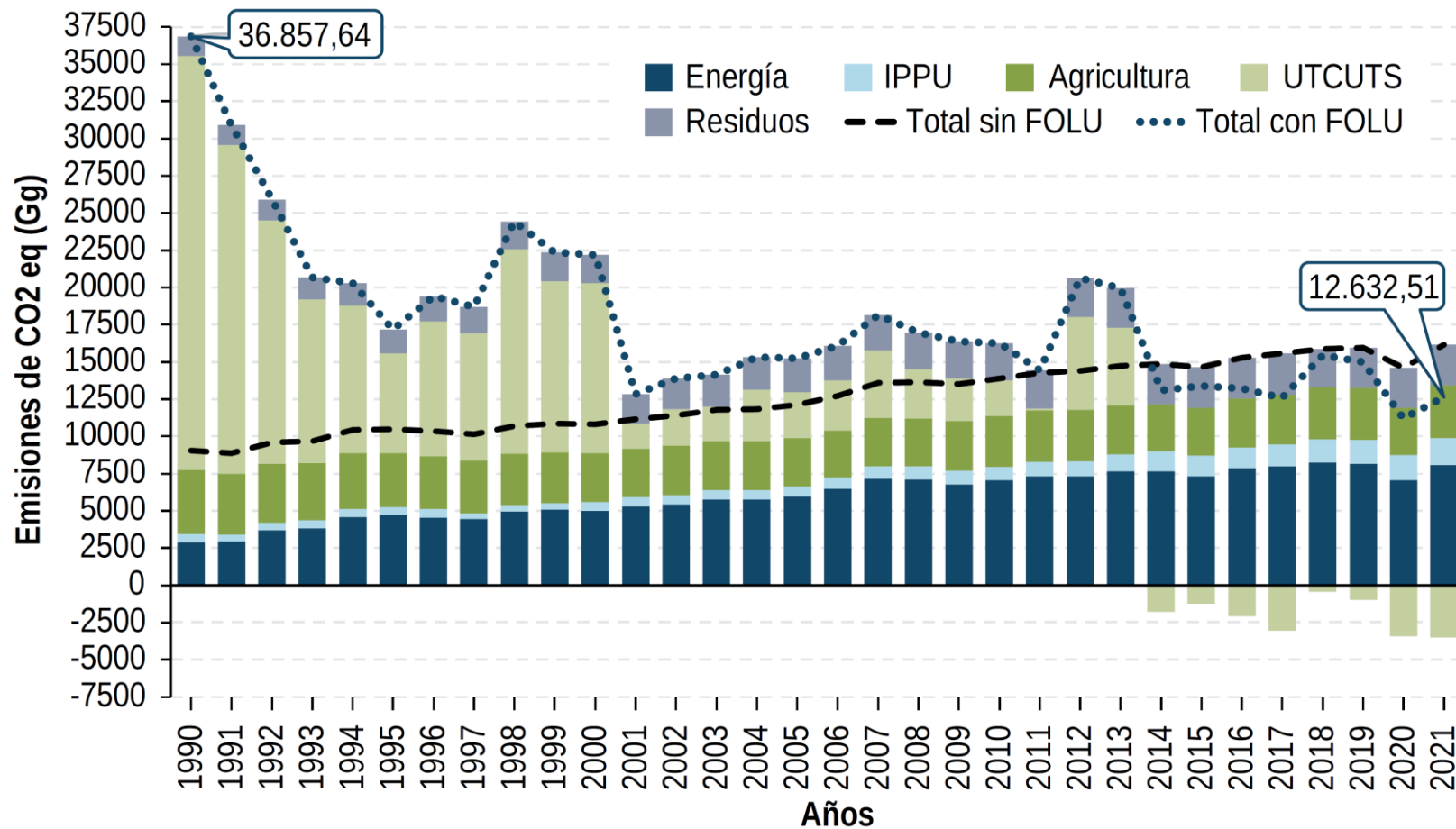
（出所） European Commission, Joint Research Centre, Crippa, M., Guizzardi, D., Pagani, F., Banja, M., Muntean, M., Schaaf, E., Monforti-Ferrario, F., Becker, W.E., Quadrelli, R., Risquez Martin, A., Taghavi-Moharamli, P., Köykkä, J., Grassi, G., Rossi, S., Melo, J., Oom, D., Branco, A., San-Miguel, J., Manca, G., Pisoni, E., Vignati, E. and Pekar, F., GHG emissions of all world countries, Publications Office of the European Union, Luxembourg, 2024, [doi:10.2760/4002897](https://doi.org/10.2760/4002897), JRC138862 (https://edgar.jrc.ec.europa.eu/country_profile/CRI, 2025年9月22日アクセス)



コスタリカ

1. 一般情報

温室効果ガス排出量の推移（1990年～2021年）



Energía : エネルギー

IPPU : 工業プロセスと製品利用

Agricultura : 農業

Residuos : 廃棄物

UTCUTS : 土地利用・土地利用変化・林業

Total sin/con UTCUTS : UTCUTSを除く/含む



コスタリカ

1. 一般情報

温室効果ガス削減目標（NDC）

目標年	基準	対象	排出量の上限	累積排出量
2030年	-	全セクター	911万tCO ₂ e	1億653万tCO ₂ e (2021年~2030年)

（出所）“Primer Informe Bienal de Transparencia” (Gobierno de Costa Rica, 2024) “

* コスタリカは総排出量上限を提示しているが、具体的な削減率等は示していない。

排出削減ポテンシャル（2030年BaU排出量）

16,603,940tCO₂e

（出所）“Primer Informe Bienal de Transparencia” (Gobierno de Costa Rica, 2024)

セクター別の温室効果ガス削減量、政策・対策

セクター	NDC政策・対策によるGHG削減量	政策・対策の概要
エネルギー	設定なし	再生可能エネルギー由来による電力の100%供給（2030年まで）、ブラックカーボンの削減（2018年比20%減）等
運輸	設定なし	ゼロ排出車両の導入（2030年までに公共交通の8%、軽車両の8%を電動化）、スマートグリッドの展開、内燃機関車の販売ゼロ等
工業プロセス及び製品の使用（IPPU）	設定なし	キガリ改正に基づいた低温室効果冷媒への転換、エコ競争力のある産業構造への移行（例：LED照明、低消費電力機器の普及）等
廃棄物	設定なし	家庭・企業での分別回収とリサイクル施設の整備、家庭・地域レベルでの有機廃棄物の堆肥化、衛生的な処理体制の強化等
農業	設定なし	コーヒー・畜産・米などの分野における低排出型生産システムの導入、牛と牧草地の低排出型管理、農業廃棄物の再利用を含む循環型経済の推進等
土地利用・土地利用変化・林業（UTCUTS）	設定なし	森林減少の防止、都市部の緑地拡大、炭素吸収源の強化、成熟森林の伐採ゼロ目標等

（出所）“Primer Informe Bienal de Transparencia” (Gobierno de Costa Rica, 2024)より作成



コスタリカ

1. 一般情報

各種政策・戦略

各種政策・戦略	概要
国家脱炭素化計画 (National Decarbonization Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2019年策定。 ● 全てのセクターにわたる脱炭素化政策と行動を定めたもの。 ● 10の脱炭素化軸 + 8つの横断的戦略を提示。脱炭素化軸として公共交通の電化とアクティブモビリティや建築物の高効率・低排出設計など。横断的戦略として、グリーン税制改革など。

(出所) 各戦略・計画に基づき作成



コスタリカ

2. 国内制度

● 炭素税・炭素取引市場（Mercado Doméstico de Carbono: MDC）

- コスタリカでは、燃料製造企業への炭素税が1997年から導入されている。
- 2013年にMDC（Mercado Doméstico de Carbono）と呼ばれる炭素取引市場が設立された。
- MDCについては、パリ協定への対応等の改革を実施し、新たにMCCR（Mecanismo de Compensación de Costa Rica）と呼ばれる炭素取引市場を開始する準備を進めている。

● FIT制度

- コスタリカではFIT制度は確認されていない。

● 中小農業生産者向け融資プログラム

- 2025年6月、コスタリカの中小農業生産者を対象とした、世界銀行による融資プログラムが公表された。
- 同プログラムは2031年までの実施を予定している。
- 1億2000万ドルの融資額を持つ同プログラムは、「農業・畜産・養殖・漁業活動のデジタル登録システムの導入」「生産物のトレーサビリティ確保」「二酸化炭素排出量の削減、栽培作物の多様化、畜産における衛生基準の改善、効率的な水利用の促進」「コーヒー・畜産・サトウキビを含む持続可能な生産チェーンにおける炭素回収を認識する支払い（による付加価値の創出）」を目的としている。



コスタリカ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

承認 (Authorization)

承認体制

- 確認されていない。

登録簿

- 確認されていない。

初期報告・BTR・インベントリ等の提出状況

初期報告

- 未提出

隔年透明性報告書 (BTR)

- 2024年12月31日提出

インベントリ等

- 2025年3月19日にNIDを提出
- 2021年12月16日にNC4・NIRを提出
- 2019年12月23日にBUR2を提出

6条4項ホスト締約国参加要件様式

- 未提出



コスタリカ

4. JCM概要（2025年8月時点）

二国間文書の署名：2013年12月9日

ルール・ガイドラインの整備状況

区分	整備事項	状況
共通事項	基本的な一連のルール・ガイドライン類	済
	プロジェクトアイデアノート（PIN）に関する手続きの導入 （実施規則、プロジェクトサイクル手続き）	改定準備中
	パリ協定第6条への対応 （実施規則、プロジェクトサイクル手続き、提案方法論開発ガイドライン、プロジェクト設計書・モニタリング報告書 開発ガイドライン）	改定準備中
	ISO 14064-2:2019、ISO 14064-3:2019、ISO 14065:2020への対応 （第三者機関指定ガイドライン、妥当性確認・検証ガイドライン）	改定準備中
	持続可能な開発関連のガイドラインの採択	改定準備中



コスタリカ

4. JCM概要（2025年7月時点）

承認方法論：3件

Methodology No.	Title	Latest version	Status	Date of approval
CR_AM001	Installation of Solar PV System	Ver1.0	Valid	08 Sep 17
CR_AM002	Energy Saving by Introduction of High Efficiency Centrifugal Chiller	Ver1.0	Valid	12 Mar 18
CR_AM003	Installation of Electric Heat Pump Type Water Heater for Hot Water Supply Systems	Ver1.0	Valid	12 Mar 18

登録済みプロジェクト：1件

Reference number	Project title	Status	Registration date	Emission Reductions (Average)
CR001	5MW Solar Power Project in Belen	Project registered	23 Feb 20	2,111

発行済みクレジット：0 tCO₂（両国合計）

第三者機関：3機関



コスタリカ

4. JCM概要（2025年6月時点）

環境省 設備補助案件：2件

事業名	採択年度
ホテルへの高効率チラー及び排熱回収温水器の導入	平成28年
ベレン市における5MW太陽光発電プロジェクト	平成28年

経済産業省 JCM実現可能性調査・JCMインフラ整備調査事業採択案件：2件

事業名	採択年度
コスタリカにおける貨物鉄道への蓄電池機関車導入に関するJCM実現可能性調査	令和6年
コスタリカ共和国グアナカステ州における太陽光発電プロジェクトのJCM実現可能性調査	平成26年



コスタリカ

5. 日本（JCM）以外のパリ協定6条に基づくアプローチ

● 6条に関する方針

- コスタリカは、パリ協定6条を含む様々な形態の自主的国際協力に参加し続けるとしている。
- 自国が参加する温室効果ガス排出市場に関連する全ての取引とスキームにおいて、国際炭素市場における高い野心と完全性のためのサンホセ原則を適用し、2021年にはこの点についてパートナーとの正式な協議を開始するとしている。
- 2017年12月には、“Paris Declaration on Carbon Pricing in the Americas”を4か国（カナダ・コロンビア・メキシコ・チリ）及び7地域（米国カリフォルニア州・ワシントン州・カナダアルバータ州・ブリティッシュコロンビア州・ノバスコシア州・オンタリオ州・ケベック州）と共に宣言し、米州におけるカーボンプライシングの導入やプラットフォームの創出、MRVに関するシステム強化などに向けて協力していくことを示した。

● 日本以外との国とのパリ協定6条に基づくアプローチ

- シンガポール：
2023年12月、パリ協定6条に沿った炭素クレジットに関する協力に関して、シンガポールとMoUを締結した。



コスタリカ

6. 固有の制度・工夫

● 分野ごとの取組

【森林】

- 国土の約60%が森林で、REDD+制度を通じて森林減少・劣化の抑制に成功している。
- 世界銀行のFCPF（Forest Carbon Partnership Facility）とのERPA（排出削減支払契約）により、2018-2019年の排出削減に対して1,640万ドルを受領。
- 国内炭素市場（MDC）の枠組み内で認証・販売される補償単位の一形態として、1990年代後半頃からFONAFIFO（国家森林金融基金）による森林炭素証書制度が制度化されている。PES（環境サービス支払い）制度と連携しており、森林所有者がPES制度に登録することで、炭素吸収量に応じた証書発行が可能となり、森林保全と収入創出の両立をサポートする。

【交通】

- 交通部門はコスタリカ最大のGHG排出源であり、国家脱炭素化計画（PND）で交通部門の電動化が重点分野として明記されている。EV充電インフラ、電気バスの試験導入、都市交通計画が既に始動しており、水力での電動化と組み合わせることで大幅な削減が可能。

【水素・アンモニア】

- 2022年に発表された国家水素戦略では、輸送・産業・農業分野での水素活用を推進。特にグリーンアンモニアは肥料用途での脱炭素化に貢献するとされ、国営電力公社ICEが実証プロジェクトを開始している。再エネ比率が90%以上であるコスタリカでは、これらの技術が現実的かつ高ポテンシャルな削減手段と評価されている。

【AI活用による省エネ】

- 国家AI戦略（ENIA 2024-2027）では、エネルギー効率化を含む環境分野へのAI応用が重点分野とされ、公共サービスの最適化やスマートグリッド導入が推進されている。また、UNEP-CTCNとの連携により、AIを活用した気候技術の能力構築プログラムが実施され、地域適応型の技術導入が進行中である。
- 中央アメリカ経済統合銀行（CABEI）は、電気鉄道やスマートインフラ整備などの、AIを含む省エネ技術を活用したGHG削減プロジェクトに資金提供している。



コストリカ

7. コミュニケーション履歴

↓ 会議名をクリックすると会議資料のページにリンクします。

Subject	Date	Agenda
1st Joint Committee in San Jose	29-Sep-15	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	8-Apr-16	Designation of third-party entities: - Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA)
Electronic Decision by the JC	17-Jun-16	Designation of third-party entities: - Japan Management Association - Japan Quality Assurance Organization
2nd Joint Committee in San Jose	8-Sep-17	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	12-Mar-18	Approval of proposed methodologies with revisions: CR AM002 "Energy Saving by Introduction of High Efficiency Centrifugal Chiller" CR AM003 "Installation of Electric Heat Pump Type Water Heater for Hot Water Supply Systems"
Decision by the JC	10-Apr-18	Rules of Implementation for the Joint Crediting Mechanism (JCM) (version 03.0) JCM Guidelines for Developing Project Design Document and Monitoring Report (version 03.0) JCM Verification Report Form (version 02.0) JCM Credits Issuance Request Form (version 03.0)
Electronic Decision by the JC	23-Feb-20	Registration of a proposed JCM project - CR001 "5MW Solar Power Project in Belen" Designation of a third-party entity (TPE) - EPIC Sustainability Services Private Limited (EPIC)